

いやしようなない悲しみを抱えながら 未来のこともたちのいのちを守る闘いをした人たちの その傍らへ。

「なぜわが子が学校で最期を迎えたのか」10年間にわたり、その答えを探して撮影し続けてきた親たちの記録

大川小学校 津波裁判を闘った人たち

# 生きる

小さいのちが遺した  
伝えなくてはいけないこと。  
忘れてはいけないこと。



監督:寺田和弘 プロデューサー:松本裕子 協力:大川小学校児童津波被災遺族原告団、吉岡和弘、齋藤雅弘 主題歌:「駆けて来てよ」(歌:廣瀬 奏)  
助成:文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業)独立行政法人日本芸術文化振興会 後援:宮城県 製作:株式会社ハオネットワーク 配給:きろくびと  
2022年/日本/16:9/124分 ©2022 PAO NETWORK INC. 2022年文部科学省選定作品 東京都推奨映画 ikiru-okawafilm.com

● だれでも鑑賞できる字幕・音声ガイド付きバリアフリー上映。 ● チケットは、ぴあ窓口やセブンイレブンで購入できます。  
● お目の不自由な方へ 当日正午までにご連絡くだされば開場30分前に相模大野駅中央改札口から誘導します。 ● お耳の不自由な方へ 受付とトークは手話と文字表示あります。

2023年 会場■相模原南市民ホール

相模原市南区 相模大野 5-31-1 合同庁舎内  
相模大野駅下車 徒歩 15 分  
※ナビレクの道案内をご参照ください。

チケットお求めの際は  
PコードまたはQRコードを  
ご利用ください。

## 9月15日(金)

昼の部 PM2:30~  
(開場 PM2:00)  
夜の部 PM6:30~  
(開場 PM6:00)

参加費  
**1000円**

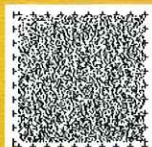
Pコード 553159  
※中学生以下と  
障がい者の付添いの方 無料



主催: NPO 法人こぞずっと 問合せ: ☎ 042-745-0676 e-mail: info@cocozutto.jp

後援: 相模原市 / 相模原市教育委員会 / 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会

こちらは音声コードです。  
裏面にもあります。



# わたしたちも行く みなそこ 水底を掬いに——。

海の底に沈んで浮き上がることができなかつた魂を、何とか掬いあげたいと日々泥水をかき分けた御遺族、その御遺族もまた、深い悲しみと葛藤の中で、水底に沈んでいたに違いない。

「掬う」という文字は、決して上から引き上げて救済するようなものではなく、遺族に寄り添って、子どもの魂も、遺族の苦しみも、菊の形をした両手のひらで掬い上げようとすることを意味している。

『水底を掬う-大川小学校津波被災事件に学ぶ-』（信山社・刊）はしがきより

## 「あの日、何があったのか」「事実と理由が知りたい」

## 親たちの強い思いが、10年にわたる唯一無二の記録となった

2011年3月11日に起こった東日本大震災で、宮城県石巻市の大川小学校は津波にのまれ、全校児童の7割に相当する74人の児童（うち4人は未だ行方不明）と10人の教職員が亡くなった。地震発生から津波到達までには約51分、ラジオや行政の防災無線で情報は学校側にも伝わりスクールバスも待機していた。にもかかわらず、学校で唯一多数の犠牲者を出した。この惨事を引き起こした事実・理由を知りたいという親たちの切なる願いに対し、行政の対応には誠意が感じられず、その説明に嘘や隠れいがあると感じた一部の親たちは真実を求め、石巻市と宮城県に対して国家賠償を求めて提訴に至る。彼らは震災直後から、そして裁判が始まってからも記録を撮り続け、のべ10年にわたる映像が貴重な記録として残ることになっていく——



### 【大川小学校 311当日の行動】

- 14時 46分 地震発生
- 50分ごろ 校庭に移動し、そのまま校庭に待機
- 52分 大津波警報 防災行政無線（予想津波高6m）
- 15時 10分ごろ 大津波警報 防災行政無線（2回目）
- 20分ごろ 消防車「高台避難」呼び掛け  
大川小学校前を通過
- 28分ごろ 石巻市広報車  
「追波湾の松林を津波が越えた」と「高台避難」を呼び掛け、  
大川小学校前を通過
- 35分ごろ 「三角地帯」への移動を開始
- 37分ごろ 大川小に津波が到達

## 弁護士はたった2人の弁護士 親たちが“わが子の代理人”となり 裁判史上、画期的な判決に——

この裁判の代理人を務めたのは吉岡和弘、齋藤雅弘の両弁護士。わずか2人の弁護士団で、原告となった親たちは「金がほしいのか」といわれのない誹謗中傷も浴びせられる中、事実上の代理人弁護士となって証拠集めに奔走する。彼らにとって裁判で最も辛かったのはわが子の命に値段をつけなければならないことだった。それを乗り越え5年にわたる裁判で「画期的」と言われた判決を導く。親たちが撮り続けた膨大な闘いの記録を寺田和弘監督が丁寧に構成・編集し、独自の追加撮影もあわせて、後世に残すべき作品として作り上げた。

©2022 PAO NETWORK INC.

ここdeシネマは バリアフリーからユニバーサル上映にステップアップを目指しています



HELLO! MOVIE は  
こちらからダウンロード  
ください。

■視覚障がいの方のための音声ガイドが聞けます。  
本作にはオフィシャルの音声ガイドが付いています。  
「HELLO! MOVIE (ハロー!ムービー)」というアプリを使い  
スマホで聞けますが、スマホをご利用でない方のために  
当日は、会場内にFM電波でもガイドを流しますので、  
ラジオで聞くこともできます。周波数は88.5MHzです。

だれとでも楽しめる  
バリアフリー上映です。  
字幕と音声ガイド付き  
貸出用ラジオあり。  
(15台まで)

■相模大野駅から会場までの道案内「ナビレク」をご用意しました。  
(一社)音声ナビネットさんのご協力を得て、相模大野駅中央改札口から  
南市民ホールの総合案内までスマホが音声で道案内します。  
「映画を見ることができる」から「映画を見に行くことができる」へ。  
■南市民ホール内は「ナビレンス」の表示があります。  
スマホで読める表示で、受付からWCまで  
ご案内させていただきます。

後援：相模原市 相模原市教育委員会 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会

お問合せはこちらへ 〒252-0303 相模原市南区相模大野9丁目6番18号

TEL 042-745-0676 FAX 042-742-0447

メール info@cocozutto.jp

主催 NPO法人ここずっと

開催カンパ振込口座  
横浜銀行相模大野支店  
普通 6041388  
名義 NPO法人ここずっと

